



「楽しかった！」の経験の積み重ねが、 さらなる子どもの意欲を促す



・・・みんな一緒に楽しく！ それは、幼稚園でこそ経験できること・・・

学園長 小島 澄人

幼児期に大切なのは、主体的に多様な動きを経験して、「これって楽しい！」と子どもが思うこと。子どもたちが主体的に取り組み、「これもできた！」「あれもできた！」「それもやりたい！」と成功体験を積み重ねて、遊びの意欲を育むこと。

子どもたちは、毎日の保育で、いろいろな事を学びます。その学びが、小学生になっても、中学生になっても、大人になっても、「活かされる何かに繋がっている」と信じています。

今は、コロナ禍の中で、いろいろなことが思い切ってできない残念な年。でも、先生たちは、例年のようににはできないが、いろいろな体験をさせてあげたいと、いろいろ考えてくれました。年長組さんの「お泊まらない会」。午後からやってきて、ワクワクに繋がる体験をして、皆で、カレーライスを食べ、キャンプファイヤーもして、花火も見て、一夜を過ごせなかったのは残念ですが、「お泊まらない会」は、思い出になったことでしょう。

そして、今年は、親子で楽しむ夕涼み会ではなく、学年ごとに楽しむ「夏祭り」。満三歳児と年少組さんは、保育の中で楽しみました。体力がついてきている、年中、年長児には、帰りのバスに乗って登園してもらい、「夏祭り」が展開されました。先生たち一生懸命、試行錯誤しながら、考えてくれました。暑い中、準備、練習をしてきていました。先生たちの柿の実パワーを感じます。そして、先生たちのパワーは、子どもたちのパワーへ繋がり、「やりたい！」「あれもこれもやりたい！」「楽しかった！」と笑顔に繋がり、繋がりがどんどん繋がって、それが、「柿の実パワー」・・・。園庭いっぱい、お祭り気分。エイサーの曲に合わせて、太鼓を持った先生たちが出てきました。

「ワッショイ、ワッショイ」と御神輿が登場しました。ソーラン節の太鼓の迫力。先生たちの姿に憧れた子どもたちも沢山いたことでしょう。縁日コーナーも楽しめたね。

「たのしかった！」本当に嬉しそうな、顔・顔・笑顔・

でした。持ち帰ったお土産が、楽しさを
物語ることでしょう。

先生たちありがとう！

子どもたちの笑顔ありがとう！

柿の実パワーにありがとう！

